（別記様式第１２号）（第３の８関係）

（南信州地域）

令和７年度　地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	地域ブランディング事業
事業主体 （連絡先）	株式会社　阿智昼神観光局
事業区分	(6)産業振興、雇用拡大　ア　特色ある観光地づくり
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	4,532,000　円 （うち支援金： 3,352,000　円）

事　業　内　容

阿智村という地域のブランディングを確立させるため、②地域の物語つくりワークショップの開催、③座禅草公園の誘導看板の政策・設置、④地域WEBページの作成を実施した。

　ワークショップ開催後、完成した参加者の作品を紹介するWEBページや、地域WEBページを作成し、阿智村の歴史や、魅力、特産品など幅広い情報を常に発信できるようにした。また昼神温泉の公式HPと連携し、少しでも多くの方に阿智村を知ってもらえる導



【物語つくりワークショップ】

事　業　効　果

①地域ブランディング事業として、阿智村の魅力発信、再確認をするためのワークショップ、観光導線整備として座禅草看板の設置、住民参加型の情報発信として各地域の方へインタビューを行い紹介することができた。これらの事業により、村民、観光客への阿智村へのより深い理解、興味を持ってもらう手段を確立することができた。

②地域資源の発掘のため地域の物語つくりワークショップの開催をし、地元住民を含め30名以上の参加者に阿智村の魅力、歴史、文化について、再確認、認知を広めることができた。

③昨年に引き続き、座禅草公園の周辺整備の最後に、座禅草公園の誘導看板を設置。これにより道に迷うことなく、整備された観光地として来訪促進につながった。

【目標・ねらい】

①阿智村としての地域ブランドの確立
②地域資源の発掘
③観光導線整備
④住民参加型の情報発信

※自己評価【A】

【理由】
作成したWEBページを見て、実際にお問い合わせることが思った以上に増えた。ワークショップに関しても多くの方の参加があり、阿智村の魅力を再発見、再発信することができ

今後の取り組み

今回の事業で、阿智村の資源や魅力について、地元民を含め様々な年代、地域の方々と再発見、認知していただくきっかけになった。それらを可視化できるWEBページ作成や、看板設置による観光地としての景観整備ができた。今後の誘客促進や、地域資源の発掘、阿智村の認知が進む基盤を作ることができた。今後もWEBページの更新、「座禅草まつり」の継続開催、地元民を含めた魅力発信、再認知イベントなどを継続して行い、今まで以上に地元民には愛着を、観光客には歴史や文化、特産品への理解を深めていただけるよう引き続き取り組んでいきたい。